

Dr.ひろみの



ハッピー子育て

か る た



みなさん、こんにちは。冬休みは楽しく過ごせましたか。私はアメリカの友人夫婦のところに遊びに行きました。35 年来の旧友で、現在同性婚して幸せに暮らしています。印象深かったのは、早起きのキャリアウーマンの彼女が、遅起きの専業主婦の彼女のために、毎朝必ず大好きなジャスミンティーを作って枕元に用意すること。「彼女は全部やってくれる。私はこんなことしかしてあげられないから」と微笑む彼女にとっても感動しました。夫婦円満なわけですね。



☆読み手☆
鈴木 裕美 (すずき ひろみ)
香川大学医学部 小児科専門医



16

それなら
あなたはあなたと
言ってちょうだい

15

ほかのおうちを
うらやましがると
うちはうちと
大人は言う

今月のかるた解説

子どもが「友達はゲーム買ってもらっている」「よく外食に行っている」「門限がない」など羨ましがろうものなら、親が必ず言うのは「うちはうち、よそはよそ」で、子どもの願望を取り上げようとしませんでした。すがすがしいほど聞く耳を持たず、突っぱねていたものでした。今は、子どもの要望に応えるよう無理して頑張ったり、応えられないと申し訳なく思ったりするのでしょうか。私はぜひ、親なら「うちはうち」とできないことはできない、ルールはルールとはねのけてほしいと思います。子どもは我慢を覚える必要がありますし、人と比べて足りないものを羨み、ねだれば手に入ると学ばせるのは百害あって一利なしです。

うちはうちと言っていい。これと同時に、大人も子どもを他人と比べて、足りないものを羨み、期待通りでないことを責めないのがフェアだしい貫していると思います。「あなたはあなた。あなたが幸せであればそれでいい。」そう伝えたいですね。